

## 学級活動 学習指導案

安芸郡坂町立坂中学校  
教諭 廣田 泰三

- 1 期間 平成23年 7月7(木), 8日(金)
- 2 学年・組 第3学年1組(32名)
- 3 題材名 「自分の抱えている課題をのりこえよう！」  
(3) 学業と進路 オ 主体的な進路の選択と将来設計

### 4 題材設定の理由

#### ○ 題材観

本題材は、中学校学習指導要領特別活動編の内容(3)「学業と進路」に関する活動内容オ「主体的な進路の選択と将来設計」について取扱ったものである。第3学年の時期にあつては、進路計画の実現を目指して、生徒が卒業後の進路選択の問題を、自分自身の課題として受け止め、自ら解決していくために、例えば、高等学校進学の志望校選択などに当たって、何を知り、どのように考え、いかに行動すべきか等について検討することが重要である。

また、キャリア教育においても、生徒が将来、社会の様々な変化に対応しながら、社会的・職業的に自立していくためには、様々な課題を受け止め、自ら解決していく能力や態度を育てることが求められている。

本題材では、直ちに将来設計や進路計画を立案するのではなく、まず、生徒が日常生活等における自己の課題を見出し、解決のための計画を立て、いかに行動すべきか等について検討していく学習を展開していく。このような学習を積み上げていくことにより、主体的な進路の選択と将来設計へつなげていく。

#### ○ 生徒観

所属校の第3学年は明るく素直で、諸行事において、お互いに協力し合い、決められたやり方を守り、役割を果たしながら熱心に取り組むことができる。しかし、計画の段階での見通しがあまく、課題をはっきりさせないまま実行に移してしまう姿が見受けられる。また、今のやり方でよいのかを立ち止まって見直し、更なる向上を目指してやり方を改善したりアイデアを提案したりすることは少ない。

また、キャリア教育で育成が求められている「課題対応能力」についての実態調査でも、「何かをする時、見直しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図る」という項目に大きな課題があることが分かった。

#### ○ 指導観

指導にあたっては、まず、学習や部活動等における目標や自分自身の課題について設定させる。具体的には、目標と現状のギャップから自分自身の本当の課題は何なのか考えさせ、ワークシートに記入させる。

次に、設定した課題に対して、どのような手立てを打てばよいのか考えさせ、それを基に自分がどのように行動すればよいのか計画を立てさせる。具体的には、これからすぐにできる行動や、やめられる行動は何なのか、今までうまくいった方法やまだ試したことがない方法は何なのか等、具体的な手立てを考えさせ、それを実行するための行動計画をワークシートに記入させる。その際、様々な情報を収集し、その中で必要な情報について選択しながら、計画を立案させる。

そして、その計画を基に行動することで、自分の課題を解決し、目標を達成できるように指導していく。授業を行う際には、自分だけの課題に向き合うのではなく、グループ等での意見交流を通して、生徒がお互いの計画について質問やアイデアを出し合う時間を設ける。

また、社会科や総合的な学習の時間、道徳の時間とも関連させ、生徒の能力や態度の向上に結

び付けていきたい。

### 5 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法等について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の目標や課題を明らかにし、課題に対応していく考え方を理解している。</li> </ul>

### 6 題材のねらい

- 日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法等などについて考え、判断し、実践することができる。

### 7 全体構想と評価の計画

学習内容	評 価				
	関	思	知	評 価 規 準	
第1時 目標を達成するための計画を立案する		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法等について考えている。</li> </ul>	ワークシート
				<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の目標や課題を明らかにし、課題に対応していく考え方を理解している。</li> </ul>	ワークシート
第2時 立案した計画について交流し再考する	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>立案した解決方法について交流し、計画を更によりよいものに行っている。</li> </ul>	ワークシート
				<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。</li> </ul>	ワークシート

<社会>  
 単元 「現代の民主政治」  
 目標  
 ・地域の課題に対する行政の取組について調べる  
 (技能・表現)  
 【情報収集・選択・活用】

↓

<総合的な学習の時間>  
 単元 「未来をきりひらく」  
 ※探究の過程を経由する  
 ・情報の収集  
 ・整理分析  
 【情報収集・選択・活用】  
 【PDCAサイクルの活用】

↓

<道徳> 4- (1)  
 主題名 「希望、勇気、強い意志」  
 内容項目 1- (2)  
 資料 「高く遠い雪」  
 ねらい より高い目標を目指し、夢と希望を持って着実にやり抜こうとする意欲を高める。  
 【PDCAサイクルの活用】

←

県選手権大会  
 郡夏季体育大会  
 実力テスト

## 8 学習過程

### (1) 第1時

#### ① 本時のねらい

- ・ 日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法等などについて考えることができる。

#### ② キャリア教育の視点

- ・ 目標を達成するために自分の課題を明らかにし、その課題を解決するために、情報を収集・選択して計画を立案することができる。【課題対応能力】

#### ③ 準備物

ワークシート、付箋

#### ④ 学習過程

	学習活動	指導上の留意点と支援	評価規準と評価方法
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまで自分が取り組んできたことで、成功したこと、達成感を味わったことを出し合う。</li> <li>○ なぜ、成功したり、達成感を味わったりできたかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成功したこと、達成感を味わったことを出させることにより、肯定感を高めさせる。</li> <li>○ 自分の課題を明らかにし、具体的手立てを打ったことが成功につながったことに気付かせる。</li> </ul>	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の目標や課題を明らかにする考え方を理解する。</li> <li>○ 自分の課題を発見し、その課題を解決していくための計画を立てる。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 目標を設定する。</li> <li>② 現状を整理する。</li> <li>③ 今までの取り組みを振り返る。</li> <li>④ 目標と現実のギャップから課題を明らかにする。</li> <li>⑤ 課題解決の手立てを考える。</li> <li>⑥ 目標達成のためのストーリーを具体化する。</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシート「目標達成のためのストーリー」を使って説明することにより、PDCAサイクルを意識して計画を立てたらよいことに気付かせる。</li> <li>○ 様々な情報を収集し、その中から必要な情報を選択しながら計画を立てさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己の目標や課題を明らかにし、課題に対応していく考え方を理解している。 【知識・理解】 (ワークシート)</li> <li>◎ 日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法等などについて考えている。 【思考・判断・実践】 (ワークシート)</li> </ul>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立てた計画について振り返らせ、次時は計画について交流することを知らせる。</li> </ul>	

(2) 第2時

① 本時のねらい

- ・ 立案した解決方法について交流し、計画を更によりよいものにすることができる。

② キャリア教育の視点

- ・ 立案した計画について交流し、出された意見を基に計画を具体化したり、焦点化したりすることができる。【課題対応能力】

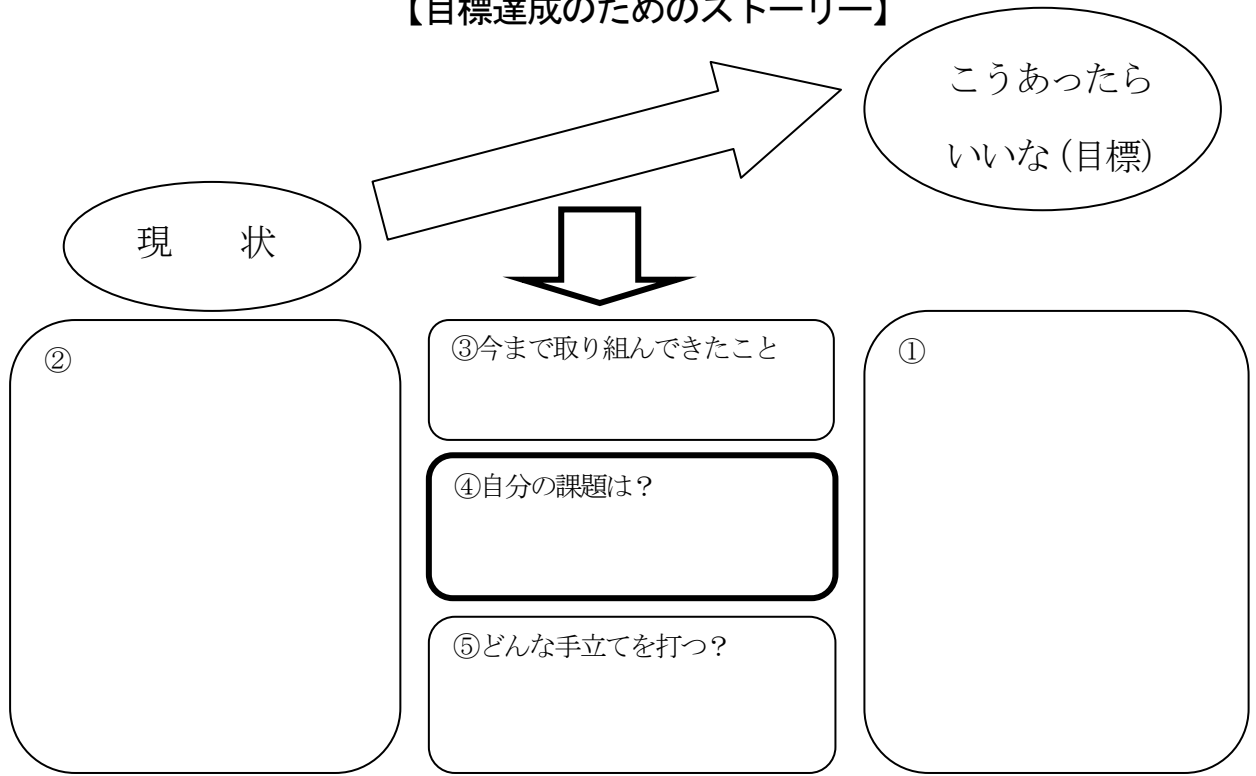
③ 準備物

ワークシート、付箋

④ 学習過程

	学習活動	指導上の留意点と支援	評価規準と評価方法
導入	○ 各自で立案した計画について確認する。		
展開	○ 計画についてグループで交流する。 <交流のポイント> ・ 自分の目標、課題、手立てを基にした計画について発表する。 ・ 他者の計画に対し、質問やアイデアを述べる。	○ 計画の改善につながる交流になるように、交流の目的やポイントを明確に伝える。	
閉	○ グループで出し合ったアイデア等を基に計画を見直す。	○ 発表者に質問やアイデアが届くよう、個別用シートに書かせる。	◎ 立案した解決方法について交流し、計画を更によりよいものに行っている。 【思考・判断・実践】 (ワークシート)  ○自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 (ワークシート)
まとめ	○ 計画について改善した部分等について、グループのメンバーに伝える。	○ 今後の実践への意欲付けになるように、計画の良さ等に触れる。	

【目標達成のためのストーリー】



期日	
具体的な計画	
評価・改善	
先生から	



成果
課題